

OUJ神奈川学習センター はるだより

通巻第54号

2013年5月18日発行

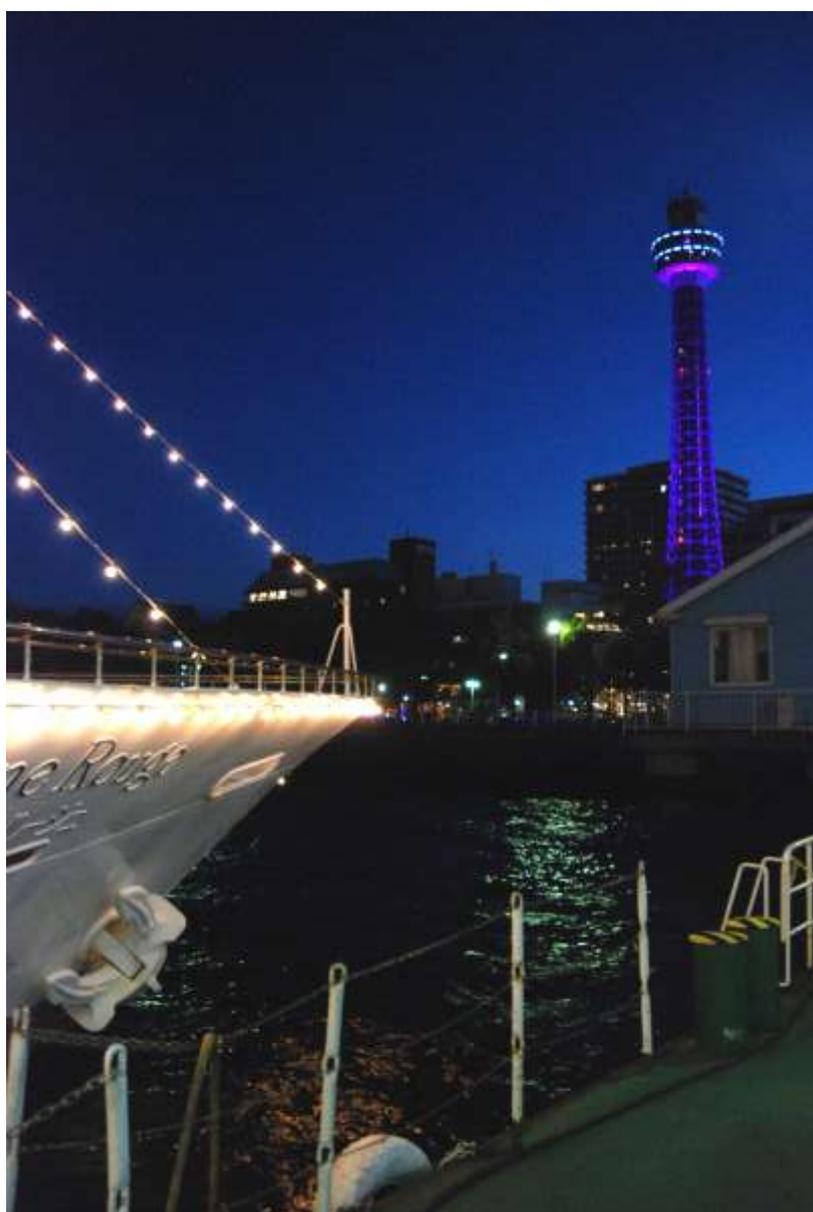
発行:放送大学神奈川学習センター

〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-1

tel:045-710-1910 fax:045-710-1914

もくじ

万象に天意を覚る 所長 池田 龍彦	2
ローマは1日にして成らず 濱田 嘉昭 前所長	3
面接授業紹介 「光の科学」	4～5
平成24年度 学位記授与式	6～7
国際交流クルーズ	7～8
被災地岩手から学ぶ津波災害の実態と危機管理	8～ 10
学習センターニュース (ダニは悪者ばかりではない ／入学者の集い／影井客員教授講演会／所長・事務長歓送 迎会)	10～ 11
学生生活に関するアンケート (平成25年4月)	12
K-サポートからの お知らせ	13
学生サークルからのお知らせ／同窓会だより	14 ～15
学習センターからのお知らせ	16



マリーナクルーズとマリンタワー (7～8面に関連記事)

万象に天意を覚る

4月7日の入学者の集いは低気圧の発達に伴う悪天候が心配されましたが、強風ながらも青空の下で292名の入学者を迎え、晴れやかな集いを開催することができました。今年放送大学が設置されて30周年の節目の年に当たります。現在、全国に9万人の放送大学の仲間がおり、神奈川学習センターには5千人を超える学生が在籍しています。学生のみなさんは、目標や置かれた環境はそれぞれ違うものの、常に自分自身を高め前進しようとする明確な意思を持っていると信じます。授業を放送を通して着実に受講することは大切ですが、学習センターでの面接授業や、さまざまな活動に参加することにより、より充実した放送大学での学習生活を期待します。

入学の集いにおいて、約90年前に新潟県の大河津分水復旧工事を完成させた青山士(あきら)技師の「万象に天意を覚る者は幸いなり」という言葉を紹介しました。その時に約束した通り、若干の解説をします。信濃川本流の洪水を防止するために、大河津分水が完成したのが1922年でしたが、わずか5年後の1927年に、水量を調節する自在堰が、基礎の洗堀現象により崩壊してしまいました。このため、信濃川を流れる水すべてが分水路を通過して日本海に流れてしまい、穀倉地帯の新潟平野に信濃川の水が届かず、稲作ができなかったという状況に陥りました。その復旧工事の指揮を執ったのが、内務省新潟土木事務所長だった青山技師です。崩壊した「自在堰」の代わりに「可動堰」を4年の歳月をかけて建設し、復旧工事を完成させました。それ以来、80年以上にわたり、信濃川本流からの洪水は一度も起こっておらず、大河津分水が地域の発展に果たした貢献は多大なものがあります。

冒頭の言葉は大河津分水の石碑に記された青山技師のことばです。当時の技術者が全力で作った「自在堰」を崩壊させた自然の力

神奈川学習センター所長 池田 龍彦

を前に人間の力の小ささを感じ、自然への畏敬の念を忘れずに、それでもなお努力して人間の力の結実として、短期間に難工事を完成させた責任者の感激を感じます。また、石碑のもうひとつの面には



「人類ノ為メ國ノ為」と記されています。自然への畏敬、人間としての使命、謙虚でありながら、人間の力を信じる力に満ちた、当時の土木技術者の大きな気概が感じられる言葉です。

東日本大震災以後の世界に生きる私たちは、自然の圧倒的な力の前に無力感にさいなまれることも多いのも事実です。しかし、放送大学で学ぼうとするみなさんは、その中においても人間の学び、向上する力への信頼を持続している人々だと私は信じます。この青山技師の言葉に込められたスケールの大きな人間賛歌のエピソードをみなさんと共有したいと私は思いました。何事をも乗り越え、一緒に着実に前進して行きましょう。

【新任教職員紹介】

放送大学神奈川学習センターに平成25年4月1日付け採用になりました。

どうぞよろしく願いいたします。

新任教職員	
所長	池田 龍彦
事務長	藤田 廣司
教務係員	中村 太一
教務係員 5/1 付	塩見貴世見

ローマは1日にして成らず

塩野七生の「ローマ人の物語」は、「知力ではギリシャ人に劣り、体力ではケルト(ガリア)やゲルマンの人々に劣り、技術力ではエトルリア人に劣り、経済力ではカルタゴ人に劣るローマ人がなぜ、1千年の大帝国を築けたのか」という疑問から始まります。その解答は全15巻の物語で

語られるのですが、古いにしえのローマには日本人の

やおよろず八百万の神にはかなわないにしても多いときで30万の神々が棲んでいたということ、奴隷でさえもが皇帝になれたこと、すべての道はローマに通じるという言葉にヒントが含まれていると思います。

この1年間、事務室、多くの学生の皆さんに助けられて、何とか神奈川学習センター長としての業務をこなせたのではないかと思います。短いけれど充実した日々でした。神奈川学習センターは日本一のセンターをスローガンにしていますが、それは完成形ではなく、現在進行形です。日本一の中身を作るのは、そこに集うすべての人の知恵と努力が必要ですが、その前提条件は整っていると思います。たくさんの経験と価値観をもった学生の皆さんがいて、それを尊重し合う風土があります(30万の神々)。リーダーが固定的でなく、多くの仲間を支えられ、新旧交替も適切に行われているようです(誰でもが能力に応じて皇帝に)。特にセンターにしばしば来られる学生の皆さんの間の会話が活発に行われているようです。電子メールを利用

前神奈川学習センター所長 濱田 嘉昭

して多くの情報共有も行われています(ローマに通じる道)。



私は科学研究の端くれにいます。世界を根底的に変えるような大発見には至りませんでした。が、いくつかの確実なデータは付け加えられたのではないかと考えています。科学はピラミッドの建築たとに喩えられます。小さくても確実な石であることが大切です。科学は人類の文化、文化活動の1つですが、学習センターの独自の文化を築くのは、センターの学生・教職員の皆さんの1つずつの確かな努力の積み重ねです。そして、全国の学習センターの文化が積み重なって、放送大学(ローマ)全体の文化が出来上がっていくと考えます。神奈川学習センターのさらなる発展を期待しています。

【退任】

放送大学神奈川学習センターを平成25年3月31日付け退任されました。

退任教職員	
所 長	濱田 嘉昭
事 務 長	宮崎 安博
教務係員	石川 勝明
教務係員	笹生 一夫

面接授業紹介「光の科学」

「光の科学を受講して」

受講生 安西 誠司

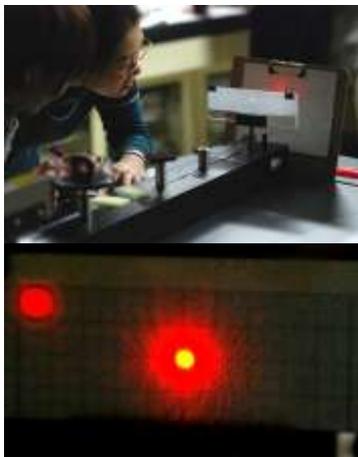
私は「心理と教育」を専攻しています。光については全く学習していません。興味関心はありましたが、それ以外は持ち合わせていませんでした。

そんな私ですが、シラバスにおいて「知識がなくても大丈夫」と書いてあったこともあり、興味本位で受講することに決めました。

どんな内容か不安だったのですが、担当の遠山絃司先生の軽妙洒落な話術に引き込まれ、初日午前中の「光の性質」の講義を集中して聴いていました。

午後からは実験室での実験です。光の性質の「光の波動性」をグループに分かれて確認します。実験ではHe-Ne(ヘリウムーネオン)レーザーを使った実験器具を用いるのですが、難しい操作はなく、説明を聞きながら、そして結果を考えながらの実験です。

レーザー光は一点に当たっているだけなのですが、回折格子という専用



の板を通すと幾つにも光が横に広がり(光の回折)、この広がった光の点と点の寸法を測定して求めるのが光の波長だということです。そこで計算式が出てきますが先生に確認してもらいながら皆無事に計算を終わらせて光の波長を求めることが出来ました。

次はレーザー光を水中の回折格子を通す実験でしたが、光の広がりに変化が出ました。波長が変化したという事です。

ここで先生から波長と色の違いについての話がありました。本来ならば波長が変わると光の色も変わるはずですよ、と。

次の日は偏光板を使った実験です。晴れた青空の下で偏光版を通して色々な場所を見て、感じて、そして実験室で偏光板の原理と光の特性を再確認してから「光の偏り」実験をします。

最初に実験結果を予想したのですが、色々な回答が出て実際にやってみなければ確認できませんが、先生の話術と全員参加の実験により皆、実験結果に納得することが出来て実験終了です。

実験最後にガラス板にセロハンテープを重ね貼りして偏光板を使ってガラス板を見ると、、、という楽しい時間もありました。

授業最後はスライドで見る光についてです。

光・色・そして自然の力での回折現象。

本来は難しいはずの内容をわかりやすく楽しく、好奇心をくすぐる授業でした。

初めての面接授業や専門的知識はなくても興味のある方におすすめの授業です。

しかし、すべての授業、特に専門科目の面接授業がこの様な初心者向けの内容ではないことは理解しておいてください。いね。



「手や足を使って学ぶ」

放送大学客員教授 遠山 紘司

放送大学の多くの授業はテレビとラジオを通して行われ、学生のみなさんは自宅等で勉強します。録音・録画をすればいつでもどこでも学べます。そのかわり孤独です。一方、面接授業は日時が指定されるだけでなく、学習センターと言う場所も指定され、受講生数も制限を受けます。そのかわり同じ学ぶ仲間に出会える場もあります。

神奈川学習センターでも1学期、2学期にそれぞれ60～70科目面接授業が開講されています。授業形態もいわゆる講義形式のものから実験、実習、演習など様々です。私が今回担当した「光の科学」は自然系共通科目で、講義と実験を組み合わせたものです。

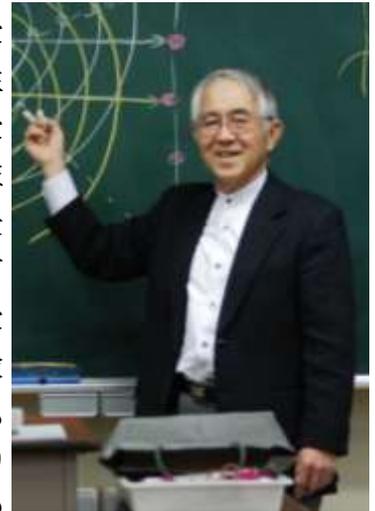
自然系科目は理論ばかり知っていても「本当かな」というところがあり、実験を通して「そうなんだ」となり、確かな知識になるところがあります。理論と実験は車の両輪にたとえられます。光も「直進する」という性質は



知っていても、「波として進む」という性質は「本当かな」というところがあります。今回の面接授業は「光は波としての性質を持つ」ことを自分自身で実験を通して確固たるものにするにありま。そして、光の波としての性質が「色」と深く関係していることも知っていただきたいことです。

私は、もう一科目面接授業「問題解決の進め方」を担当しています。私達は仕事の上でも、日常生活の中でもさまざまな問題に直面します。その時、あれこれ考えながら解決しています。しかし、もっと良い考え方や解決法、さらに良い結果があるかもしれません。この授業では問題の見つけ方から解決法までの一連の技法を5～6人のグループで話し合いながら進め、その手法を一人ひとりが身につけるものです。

2つの科目とも手、足、そして頭を使い、学生さんどうしで相談しながら進めますので友達が出来たのも特徴でしょう。楽しみながら参加して頂きたいと思っています。



東京タワーからの地上デジタル放送で放送大学をご覧の学生の皆さまへ

NHK及び民放5社は、東京スカイツリーへ送信所を移転する準備を進めており、時間を決めて試験電波の発射を行っています。

このため、東京スカイツリーからの電波により、放送大学の放送でもごく一部で受信障害が発生する恐れがあります。つきましては、この試験電波発射の際、ご自宅等のテレビで放送大学の地上デジタル放送が良好に視聴できるかどうかご確認ください。もし、良好に受信できない場合は、「東京スカイツリー受信相談コールセンター」(0570-015-150*)にご相談ください。試験電波の発射スケジュール等の詳細は大学HPもしくはデータ放送画面でご確認ください。

※IP電話等でつながらない場合は044-330-1108におかけください。

平成24年度学位記授与式

平成24年度学位記授与式が、3月23日(土)渋谷のNHKホールで行われました。

午前10時の開場の前から、全国各地から集まった、卒業・修了生で長蛇の列が出来ました。

式典は、来賓の紹介、卒業生・修了生代表への学位記の授与、学長および来賓の祝辞。卒業生と修了生総代による答辞、そして、名誉学生等の学長表彰へと続きました。最後に岡部学長の指揮の下、開場の全員で学歌を唱いました。

神奈川学習センターでは、平成24年度卒業生は170人、修了生は26人の合計196人でした。
(編集部)



卒業・修了祝賀パーティ



48人が力を込めて斉唱

「大変よかった」学長からの言葉

神奈川合唱団 岡村 和信

3月23日、NHKホールで開かれた平成24年度卒業証書・学位記授与式に参加し、神奈

川合唱団の一員として学歌を斉唱した。会場に緊張感と喜びが広がる中、午前11時に開会が宣言された。合唱団は控え室で同学位記授与式のモニター画像を見ながら出番を待つ。ピアノは新井ゆう子先生。合唱団は普段の練習の成果を存分に発揮すべく気を引き締めた。出番が迫るころ舞台の袖まで全員移動、3列に並んで待機する。ここにもモニター画像は置かれていた。

式次第に従い、舞台中央の決められた位置まで進み整列、各自姿勢を整えた。その一瞬、岡部洋一学長の持つタクトが動く。合唱団はピアノに合わせて力を込めて斉唱した。

斉唱を終わり引き上げる途中、ホール舞台裏の廊下で、指揮・岡部学長から「大変よかった」とねぎらいの言葉をかけていただいた。

神奈川合唱団は総勢20人、創部して20年近い歴史ある充実したサークルである。当日、斉唱に参加したメンバーは男女合わせて48人、男性は黒の式服に蝶ネクタイ、女性は白のブラウスに黒のロングスカートという清楚な正装である。

式の始まる1時間前に、合唱団は、控え室を兼ねたNHKホール地下2階の第4楽屋(リハーサル室)で、岡部学長の指示を受けつつ最後の練習を行った。

音響効果の優れた環境のいいNHKホールとい



う特設の場で、マイクから流れる合唱団の混声四部合唱。下村博文文部科学大臣ほか来賓の方々も威儀を正して聴いておられた。全国の学習センターから集まった参加者は、学歌斉唱を聴きながら自らの厳しかった勉学の道を振り返り、それぞれに深い感動を覚えたことであろう。

岡部学長は式辞で、塩野七生の「ローマ人の物語」から引用し、学んだことをさらにメンテナンスすることの大切さ、新しい道を築く必要性を語った。式はすべてスムーズに進行した。学歌斉唱には、合唱団のほか放送大学の教授、大学本部職員の方も参加した。合唱団の

一員として「開かれた大学・放送大学」の歌詞に共感するとともに、同学位記授与式の脇役として、十分その役割を果たしたのではないかと実感している。



卒業・修了生も歌詞を見ながら一緒に唱った

国際交流クルーズ

2月16日(土)横浜港内のレストランシップ「マリーナルージュ」をチャーターして神奈川学習センター主催の国際交流クルーズが開催されました。船上では、フェリス女学院大学 大西比呂志教授による「港都横浜と世界」の講演も行われました。(編集部)

私の住んでいる横浜国立大学の寮は、弘明寺にある放送大学の隣です。大岡インターナショナルレジデンスとい

います。世界各国からの留学生(例えば、ナイジェリア・インド・韓国・シリア・オーストリア・パキスタン人など)と共に生活をしていて、国際交流が日常です。



その寮に広告が貼ってあったので、参加することになりました。ですから、留学生の友人もたくさん来ていました。一番嬉しかったことは、普段はなかなか会うことができない外国籍の子供たちと話せたことです。しかも、その子どもたちはボーイスカウトをしているとのこと。実は私も幼稚園生からボーイスカウトを続け、現在指導補助をしているので、一気に距離が縮まった気がしました。



大学や地域を超えた国際交流を、もっともっとしたいと思わせてくれたイベントでした。

横浜国立大学教育人間科学部学校教育課程
1年 濱田翔子

動かない国際交流クルーズ…

うえるかむKanagawa 井田 春子

2月の中頃、みなとみらいの港から神奈川学習センター企画の国際交流クルーズが催された。濱田前センター長と原田准教授(現、教授)が主軸となり、Kサポートと語学系サークルがスタッフとして参加した。100名近い外国人参加者の国籍は19カ国にもものぼり、日本人100人を交えたまさに国際交流の場となったのである。



しかし当日の天候は、波が岸壁を大きく超えバシヤリと陸に撒き散らかすほどの大風に見舞われた。1時間半も船は岸を離れられず、風景は揺れる岸壁と荒れる波だけである。動かないクルーズ船に業を煮やして下船してしまう人もいる。横浜の歴史のスピーチは日本語のみで、19カ国からの参加者は内容を楽しめたのだろうか。残念なシチュエーションの中、私はなんとも居た堪れない気

持ちだ。が、幸運?にも会話以外に気をとられる要因が見当たらず、会話は深まる。

出会う人々には人生に深く関わる人ばかりではない。しかし、ほんの一瞬でも豊かな経験をもたらしてくれる。多様性のるつぼの中、相手の話を受け止め、更に深めて発信する一歩先の交流を目指せるだろうか。

残す時間30分となった時、もったいぶったようにゆらりと風景が動き出した。ホッとしたスタッフの顔を撫でるなぐさめの夕日と歓声。メロンの1辺のビルからは海の女神がこちらを見ている。「この船があなたの目の前を通る許可を出すまで1時間半もかけるなんて、なんて傲慢な！」当然の抗議にも海の女神が親指を立ててしてやったり顔をしている。間違いなく海は彼女の物なのだと思います。知らされた国際交流クルーズであった。



神奈川学習センター講演会「被災地岩手から学ぶ津波災害の実態と危機管理」

2月23日(土) 神奈川学習センターにて『被災地岩手から学ぶ津波災害の実態と危機管理』と題する講演会 第1講義「三陸沿岸の津波被害および防災の取り組みと復興」齋藤 徳美 講師 第2講義「岩手県の災害対策本部の対応」 越野 修三 講師 第3講義「神奈川県での災害対策」 金井 信高 講師 が開催された。(編集部)

『災害に立ち向かってくださった方と、災害に備えてくださっている方のご心情を思う』

川崎市 Sさん

岩手学習センター所長 齋藤 徳美さんは、秋田ご出身で、岩手大学工学部の先生や副学長をされていた方です。岩手県の大学教育は、旧帝国大学の設置目的と一線を画し、「地域の

ために働く、岩手の将来を担う人材を養成する」ことに徹しています。齋藤さんのお話と資料からは、「東北の置かれた現状を伝える」強い使命感が感じられます。



齋藤 徳美 岩手学習センター所長

工学部の先生としての一般的なお話に大部分の時間が割かれたので、齋藤さんが一番お伝えになりたかったであろう復興の遅れの現状、その原因、何をすべきかなど、建設的な問題解決について話をされる時間は、まったく足りませんでした。いただいた資料は、工学部の先生としては異例の内容という印象であり、齋藤さんご自身が、2年という時を経てもなお、人前でお話になるにはまだまだお辛い状況にあることが伝わってきました。波立つお心を抱えて私たちに前に立たれたことを思うと、あらためてありがたく、申し訳ないことと思いました。

現在でも岩手県総合防災室「主任防災指導員」であられる、越野修三さんは陸自の出身で、神戸でも活動された方でした。神戸の辛い記憶は、



越野 修三 前岩手県防災危機管理監

今も甦るのだそうです。平成18年から岩手県庁に危機管理の責任者として勤め、あと3週間で定年退職という時に大地震は起こりました。過去に大震災の救助を経験した人が、また再び同様の事態に立ち向

かわなければならないとは、過酷な人員配置です。今も同じ職場におられるとうかがうと、一体どこでこの方は解放されるのだろうかと思ってしまうます。

地震が起こる前の岩手県には、四国と同じくらいの広い県土に、既に過疎と相当医師が進展していました。そうしたところでの災害対策には、何もなくても難題だらけであったと想像できます。越野さんのお話で私が一番救われたのは、発災後すぐに達増知事が越野さんに対応を一任してくださったというお話でした。達増さんご自身も任期後半のご発言が不安定になりましたが、その限界ぎりぎりの中でよく言ってくださったと、達増さんを少し見直しました。そして不自由な体制の中で、みなさん本当によくやってくださったのだと、あらためて感謝いたしました。

神奈川県庁災害対策課長 金井 信高さんのご両親は長岡のご出身で、中越地震でご親戚のお宅が半壊となり、建て替えになったそうです。



神奈川は狭い県土に、火山、温泉、海、湾、川、山、台地、森林、平野、密集地、観光地、工場地帯と、あ

金井 信高 神奈川県危機管理部 災害対策課長

らゆる要素がひしめく、日本でも類を見ない県で、そこに暮らす900万人の災害対策は、想像を絶します。その金井さんに「大地震で根岸のコンビナートは大丈夫か」という、過酷とも思える質問が飛びました。お答えは、「平成25～26年度で、県の被害想定と対策を見直すに当たり、液状化やタンクに関する調査が実施されることになるでしょう。根岸の製油施設は、県

民にとって重要で、なくてはならないものです。火事になんて、したくありません！」というものでした。また金井さんによると、神奈川



県も、想定と対策の見直しと共に、横浜国大と共同で「事前復興」の議論が始まるとのことでした。この時期に災害対策を担う方々のご心情を思い、あらためて感謝いたしました。

東北の復興過程を見ていると、地域の生活文化が継承されていた地方ならではの、自助一互

助一協助-公助の仕組みがよく機能していることを感じます。私たちは東北の「なかなか進まない」現状を歯痒く思っていますが、都会の私達はその時、どこまでできるのでしょうか。



ダニは悪者ばかりではない

垣谷 江里子

2012年12月20日（木）13時～14時に、横浜国立大学名誉教授の青木淳一先生による神奈川学習センター公開講演会「ダニは悪者ばかりではない～善良な土壤生物の主役～」が開催されました。

公開講演会は、地域の方や放送大学への出願を検討している方を主な対象としていますが、放送大学の在学生や卒業生も参加可能です。私も、生物に関心を持つ放送大の友人を誘って参加しました。



青木先生はプロジェクターで映像や図を示されながら講演を進められました。ダニは節足動物門に属し、現在、世界に6万種以上が知られていますが、膨大な数の未知の種が存在すると予測されています。一部に人畜に寄生したり伝染病を媒介したりするものもありますが、多くは森林の落ち葉

を分解して土壌を生成するものであり、中にはチーズの熟成に欠かせない有益なものもいます。

このような多種多様な生態を示すダニを用い、どのような種類のダニが生息しているかによって屋外の樹林や住居内の環境診断を行うことが近年試みられています。

青木先生のユーモアあふれるお話しぶりに、参加者はときおり笑声を上げながら講演に聞き入り、質問も次々と発せられました。ちなみに「ダニの脚の本数」に関する私の質問にいただいた回答は、「卵の中で脚が8本発生したのち6本になって孵化し、成長すると8本になる」とのことです。



入学者の集い

4月7日(日)神奈川学習センターで、平成25年度1学期、入学者の集いが開催され、第8第9講義室に椅子だけを並べた会場は、ほぼ満員の292名参加者がありました。

岡部洋一学長のビデオによる祝辞が上映さ



れた後、池田龍彦神奈川学習センター所長の祝辞がありました。

(2ページに関連記事)

客員の先生方の挨拶、学歌の演奏、職員紹介、オリエンテーション、K-サポート、同窓会、各サークルの紹介と続きました。神奈川学習センターの新入生は、学部1, 299人 大学院230人の合わせて1, 629人でした。



影井客員教授講演会

照井 麻耶

3月3日(日)影井清一郎神奈川学習センター客員教授を講師に迎え、神奈川サークル協議会主催の公開講演会、数学と工学の狭間「ファジイ理論入門」が、開催された。

会場には、100人近い学生が集まり熱心に聞き入っていた。講演会に続いて、午後は、同窓会主催の映画鑑賞会が開催された。(編集部)

数学があまり得意ではないのですが、高校で習った用語を思い出しながら講演を拝聴していました。

たとえに国語のように文章を使ったり、英語の名言を紹介されていた



り、海外でのお話があったりと、学問をお仕事にされている方の世界観の広さにも触れられる講演

だったと思います。理系が文系と繋がる可能性、実際の必要から学問が生まれること、などについて、示唆していただきました。また機会があればこのようなイベントに積極的に参加して行きたいと思います



所長・事務長歓送迎会 (K-サポート、サークル協議会・同窓会共催)

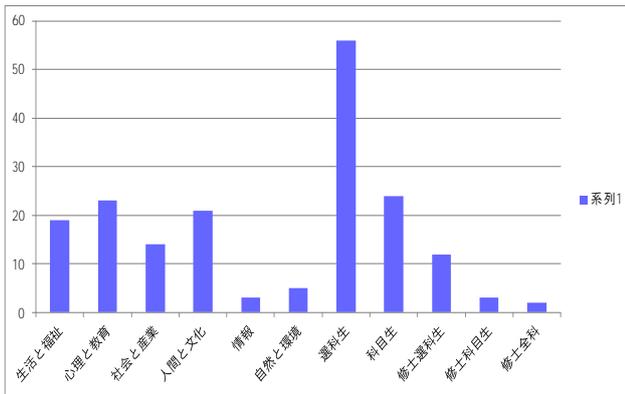
中区のパセラリゾーツ横浜関内店にて、新旧所長・事務長歓送迎会が、K-サポート、サークル協議会、神奈川同窓会の共催にて行われました。主賓の濱田所長、宮崎事務長、および池田新所長、藤田新事務長のほか、坂井教授、原田教授、渡邊元所長、藤原客員教授と神奈川学習センターの学生、同窓生、職員有志 76名が集い。神奈川学習センターの発展を願いながら、出会いと別れの一瞬、同じ時間を過ごしました。



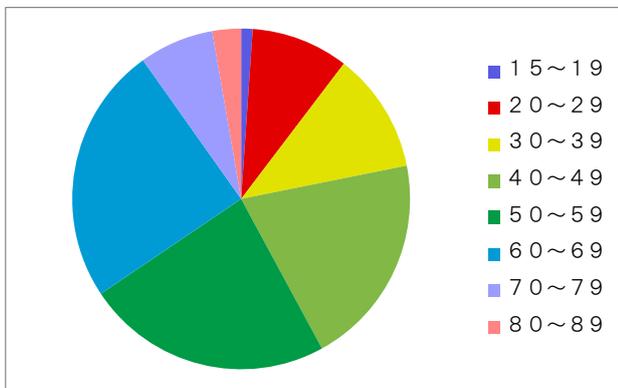
平成25年4月 学生生活に関するアンケート K-サポート機関紙編集チーム

4月7日(日)神奈川学習センターの入学者の集いには、新入生292名が参加、前年度同様のアンケートを実施し184名からの回答を得て回収率は、63%でした。

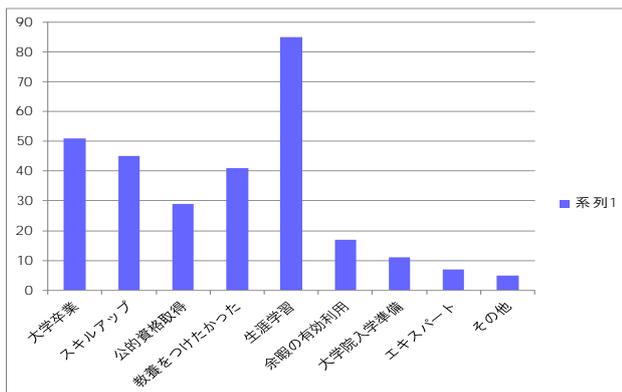
第1問は、学生種別(下図)です。全科生、選科生、科目生の割合は、48%、37%、15%で、昨年に比べてと選科生の割合が増え、科目生が減りました。コースでは心理と教育のが減少して、生活と福祉、人間と文化とほぼ並びました。



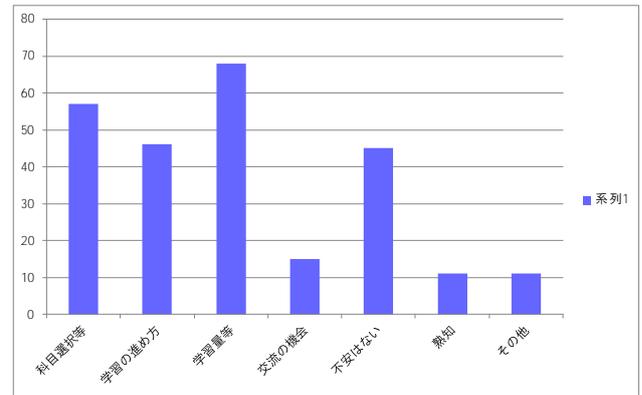
つぎに、年齢構成です。(下図)10代から80代まで年代の方がいます。40、50、60代の割合が高くなっています。



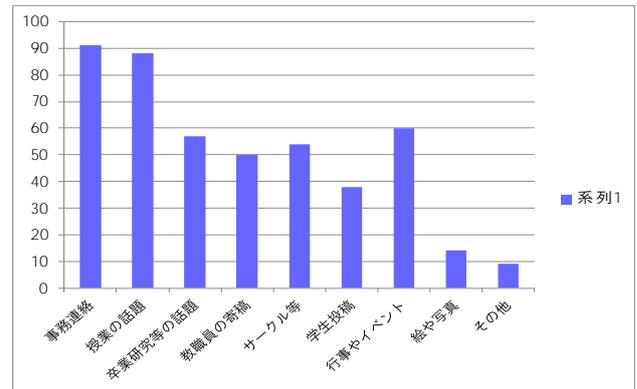
入学動機(下のグラフ)を見てみましょう。生涯学習を上げた多く、全体的にも昨年度ほぼ同傾向です。



入学者が、どのようなことに不安を感じているかを聞いた質問です。科目選択等の不安の割合が増し、入学者の放送大学への基本的理解が減退している可能性がうかがえます。

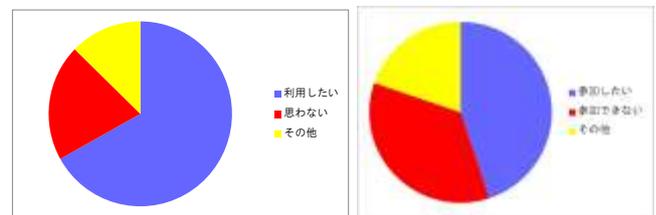


本誌、学習センターだよりに期待される記事内容は、事務連絡、授業、卒業研究と続きます。前年とほぼ同じ傾向で、読者ニーズは安定しています。



学習相談について参加したいか否か聞いた結果です。2/3の方は利用したいと答えています。

バス研修旅行については、40%近い方が参加したい。40%の方は、仕事等で参加できないと答えています。



○自由記入欄(抜粋)

- ・育児中のお母さんのため託児などの仕組みがあるとよい
- ・留学生との交流会が土曜・休日に開催されるとよい。
- ・資格取得のための履修計画の相談、経験者の話が聞けるとよい。
- ・面接授業が取りにくいと聞いたので、希望者全員が受講できるようにしてほしい。
- ・サークルや種々サポートがあることを知り少し安心した。

Kーサポートからのお知らせ

○学習相談チーム

Kーサポートの学習相談、2013年度第1学期は、**6月23日までの土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2階、談話室の相談コーナー**で行います。予約は不要です。

放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。また、6月上旬に提出する「通信指導」についても、助言や指導いたします。

○2012年度Kーサポート活動発表会

3月10日(日)に、第6回目となるKーサポートの活動発表会が、神奈川学習センターで開催されました。

濱田所長(当時)、宮崎事務長(当時)をはじめ関係する教職員とKーサポートメンバーの学生卒業生が出席。4つのチームのメンバーが2012年度の活動報告を行った後、教職員の助言をいただいて2013年度の活動計画を立て発表しました。

今回は、学習センター主催で2月16日に実施した国際交流クルーズについて、中心的に企画運営された原田准教授(当時)から報告がありました。

その後4月11日に、2月16日の国際交流クルーズ



の企画運営に協力した学生、当日ボランティアスタッフを務めた学生が中心となり、今後の活動の方向性等についてミーティングを開催しました。ミーティングには、池田所長と原田教授も臨席され、交流を担う

学生・卒業生のメンバーへの励ましや、2月のクルーズ実施のご経験をふまえた助言をいただきました。

○地域連携チームのウォークキングに参加しました。

(機関誌編集チーム)

4月13日地域連携チームが開催する、ウォークキングに参加しました。昨年の11月に歩いた金沢八景駅から朝比奈峠を越えて鎌倉に入るコースを再度歩く形で、そのときのガイドをされた方、3名による案内でした。



ガイドの方それぞれの語り口の違いや、一人のガイドの話の後、

他のガイドの方から補足が入ったりして、ウォークキング企画を自らの手と足を使って組み立てていった実力を垣間見た気がしました。

機関誌では、Kーサポート各チームの日頃の活動についても、時々、取材・紹介してゆけたらと思っています。

編集後記

今号では、放送大学外から、国際交流クルーズに参加された横浜国大生の濱田さん、被災地岩手の講演会に参加された川崎市のSさんからご寄稿頂きました。お礼申し上げます。これからも放送大学の各種行事等ご参加頂ければ幸いです。

参加(受講)学生として、安西さん、照井さんに、寄稿をお願いをしました。今号にご寄稿、ご協力くださいました先生方、事務のみなさま、同窓会、学生のみなさまに感謝申し上げます。

発行日が、暦の上で「夏」になってしまうことは、今号も解決でませんでした。カット絵のお願いが遅れて掲載できなかったこと。お詫びいたします。(H)

学生サークルからのお知らせ

○神奈川放友会

4月7日の入学者の集いで15名の新会員を迎え、5月12日の総会開催で
 新年度のスタートを切りました。
 6月は上期の行事が目白押しです。
 6月6日、13日、27日春のパソコン勉強会
 6月16日(日)旅に行こう会(歌舞伎鑑賞教室:国立劇場)
 6月23日(日)月例会(昼食会を兼ねた学習に関する情報交換会:大岡センター)
 放友会に関するお問合せ
info@kanagawa-hoyukai.jp
 高橋照夫(放友会事務局長)

○韓国語同好会

★月例会 毎月第1、第3土曜日(変更有)
 場所:神奈川学習センター(当日入口のボードで案内)
 見学自由
 時間;10:00~14:00午前グループ、午後グループ
 ハングル学習・ミーティング
 14:00~15:00 初級クラス新設(カナダラ学習
 と簡単な会話)
 講師;金蘭美(キム・ランミ)先生、崔道済(チェ・ドジェ)
 先生 ★韓国の歴史、文化、生活など身近な話題も
 学べます。★課外学習、韓国旅行(韓国放送通信大学
 訪問)も予定しています。
 ★ホームページ <http://www.hangugo-club.org>
 問い合わせ 090-5797-9418(村田)

○拡大かながわレク・サークル

★パソコン部:個人のニーズに応じた学習。
 学習日時:第2、第4木曜日 13時30分~
 15時30分。
 場所:神奈川学習センター 実習室:申込制
 ★ウォーキング部:2ヶ月に1回、「東海道五十三次」
 実施中。名所旧跡文化 施設等も対象
 ★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。
 上記の各種活動はいずれも自由参加。
 一会員募集中(随時申込・受付)一
 問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384
 E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

○人間学研究会

1. 例会
 ・6月8日「ままごと遊び12ヶ月 その2」
 ・7月7日「緑の防波堤の話(仮題)」
 各日とも午後1時より開催
 問い合わせ 安田武夫
 Tel 045-775-0879

2. その他
 (現在、hi token club という短距離のウォーキング、見学行事を、月に1回程度開催しています。現在、お知らせできる企画はありません。)

○中国語学習会

少し距離感のある大国、中国、私たちは二人の中国の先生の丁寧な指導のもと、純粋に中国語を愛し学んでいます。学習日に どうぞ見学にいらしてください。
 ☆学 習 日: 第一、第三日曜日
 ☆学習時間:10時~12時 中級(告旭平老師)
 「本気で学ぶ中国語」使用
 13時~15時 初級(唐斌老師)
 「301初級」使用
 ☆ 問い合わせ: 万場(まんば)由美子
 046-293-5521

○うえるかむKanagawa

英会話、英語学習、小さな国際交流、海外旅行等英語に夢を持っている人が集まり楽しく学んでいます。
 ☆例会は毎月第2、第4水曜日(変更もあり)。
 *7月は試験月につき10日、17日になります。
 午前中はニューヨーク出身のChris先生より英会話レッスン。午後はEnglish songsとGroup study。
 午前、午後とも自分に合うグループを選べます。
 ☆うえるかむ名画座、ゲスト講演会、懇親会、その他色々な企画あり。
 ☆活動の様子は下記のHPでご覧下さい。
<http://welcome-kanagawa.jimdo.com/>
 ☆見学お待ちしております。
 問合せ:星 090-4054-8282
reikosunflower@yahoo.co.jp

○ダンスサークル（社交ダンス）

レッスン日 毎月第2火曜日と第4火曜日

時間 午後2時～4時

費用 年会費 入会時に1000円(以後毎年1000円) レッスン料 月1500円

場所 第7講義室

その他 全科履修生は体育実技(1単位)を取得できます。

レベルの高いステップではなく基本的なステップの組合せで楽しく踊る！を目標に練習に励んでいます。ダンスを始めてみましょう!! きっと新しい世界が開けますよ!

お問い合わせ 放送大学ダンスサークル 宮川
Tel.045-933-9753

○神奈川合唱団

楽しく一緒に唱いましょう。

3月、学位記授与式にNHKホールにて学歌を唱いました。発声法に特に力を入れた指導を受けています。また“歌声喫茶”を設け仲間との親睦を深めています。気軽に見学においで下さい。

場所 大岡地区センター(神奈川学習センターの向い側)

第1、第3水曜日 午後6時～8時30分

連絡先 家田 0466-34-7545

赤松 044-288-0655

○資格取得研究会

看護・福祉分野を中心にキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。現在、大学卒を目指す看護師の方、看護師国家試験を受ける方、医療関係、福祉関係のキャリアアップや認定心理士を取られる方などで構成されています。内容は例会(情報交換)と講演会の聴講、見学会など。

これからの例会予定

・6月23日(日)10:00 会場未定、開催予定。

・7月21日(日)10:00 学生団体室

会費: ¥500(1年間)

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913(はこざき)

神奈川同窓会だより

☆～「行くところがある」「会う人がいる」
その場所は同窓会“弘明寺サロン”です～

☆ 同窓会に「会内同好会」が誕生

①茶道同好会→大岡センターにて年3回

②太極拳同好会→大岡センター一年2回

③映画研究同好会→センター内年3回

☆ 原則第3水曜日 午前中 各同好会開催
午後“弘明寺サロン”を計画

☆ 同窓会会員の他一般学生大歓迎

HP:→http://www.geocities.jp/hatoh_net/

お問い合わせ…045-333-4426 金田 保男

神奈川同窓会公開講演会



原籍地の放送大学本部へ向かう神奈川学習センターの学生たち。



放送大学
神奈川同窓会

日時:平成25年5月25日(土)15:00～16:30
場所:第9講義室
演題:放送大学に学んで
講師:森岡 加代氏(埼玉同窓会会長)

私は戦後団塊の世代として生を受けました。日本の復興期、高度経済成長期をリアルタイムで生き、そして今回の震災を目の当たりにして、個人は社会のあり様に影響されながら生きなければならないことを実感してきました。しかし放送大学に学んで、ひとは自然環境に左右される中でも夢を広げることが可能であると思えるようになりました。今は同窓会活動の中で、その夢を仲間と共に育んでいます。

プロフィール

現 放送大学埼玉同窓会会長
元 放送大学同窓会連合会会長
現 大妻女子大学特任講師
千葉明徳短大非常勤講師
東京家政大学非常勤講師

お問合せ先
神奈川同窓会事務局長 金田 保男
yuzio@hatoh.net 02833119@fnet.ad.jp
申し込みは不要です。

放送大学神奈川同窓会 会長 木村勝紀

OUJ神奈川学習センターだより編集部

赤松、家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、
宮崎、三國、和田

(50音順、以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

石塚(学習センター事務室)

学習センターからのお知らせ

◆面接授業追加登録について◆

平成25年度第1学期面接授業科目の追加登録受付は下記のとおりです。(教養学部生)
詳細は「平成25年度第1学期面接授業時間割表」をご参照いただくか「各学習センター」へお問い合わせください。

空席発表 : 4月18日(木)

追加登録期間: 4月～7月開講授業 → 4月24日(水)～科目ごとに定められた追加登録受付期限日まで

8月開講授業 → 4月24日(水)～7月21日(日)

◆通信指導について◆

平成25年度第1学期放送授業の「通信指導」提出期間は下記のとおりです。5月8日(水)までに通信指導が届かない場合は、大学本部(043-276-5111)[総合受付]に連絡してください。

提出期間: 5月20日(月)～6月4日(火)大学本部必着

※ 提出期限を過ぎて到着したものは受理できませんので、余裕をもって送付してください。

※ 通信指導の評価結果により、当該科目の単位認定試験の受験資格が得られます。

◆学生募集について◆

学ぶ喜びをより多くの方々に知っていただきたいと思い皆様のご家族・ご友人・知人に放送大学の魅力や利用方法をご紹介下さるようお願いいたします。

【平成25年度第2学期入学(10月入学)の教養学部生、大学院修士選科・科目生】

募集要項配布期間: 6月15日(土)～8月31日(土)

出願受付期間: 6月15日(土)～8月31日(土)

【平成26年度第1学期入学(4月入学)の大学院修士全科生】神奈川(みるともらい)

募集要項配布期間: 6月中旬 ～ 8月下旬

出願受付期間: 8月中旬 ～ 8月下旬

ご家族・ご友人・知人の方を「神奈川学習センター」にご紹介下さい!

